奄美大島コロナ警戒レベル「４」への引上げについて

　全国的にも、人の移動や接触機会の増加、デルタ株などにより感染が急拡大し、政府による緊急事態宣言対象地域も６都府県に及んでおり、感染拡大への危機感が高まっております。

　奄美大島においても、７月下旬以降、感染が相次いでいる状況です。

　現在の相次ぐ感染者の発生により、島内の医療体制への負荷が蓄積されている状況であることから、奄美大島５市町村で構成する奄美大島新型コロナウイルス対策本部会議では、８月５日から、奄美大島コロナ警戒レベル（５段階）を現行の「３」から、「４」へと引き上げることを決定いたしました。

　目に見えない新型コロナウイルスは、いま確実に、奄美大島内に存在しています。

　誰もが感染するリスクがあり、また、誰もが濃厚接触者などの当事者になる可能性があります。

　そして現在、奄美大島には台風が接近しようとしています。外海離島に暮らす私たちは、台風により島外搬送ができなくなることにより、必要な医療が受けられなくなるなど、本土とは異なるリスクも負っています。

　住民並びにご来島中の皆様には、改めて、基本的な感染防止対策を徹底いただくとともに、人との接触機会を減らすなど、感染リスク低減に向けた取組みへのご協力をお願い申し上げます。

　あわせて、奄美大島５市町村ではワクチン接種を進めておりますので、引き続き、住民の皆様のワクチン接種への積極的なご協力をお願いいたします。